

こやまだより

野火止

のびどめ

2018

No.65

編集 発行

(福)東京都社会福祉事業団

東京都小山児童学園

〒203-0041 東久留米市野火止 2-22-26

電話 042(471)0041

FAX 042(475)9046

<https://koyama-gakuen.jp/>

平成30年10月31日発行

平成30年度/登録第65号



夏の思い出

園長 千葉 伸一

小山児童学園の児童を、いつも応援していただき、ありがとうございます。

この夏は、都内で観測史上初の40度超えを記録し、気象庁も「命に危険があるような暑さで災害」と発表するなど、かつて体験した事の無い猛暑でした。このような中、子どもたちは暑さをものともせず、行事や外出で沢山の思い出作りに励みました。

地域自治会と共催の盆踊り大会は、残念ながら台風で中止となり、後日、園内行事として納涼祭を行いました。スイカ割りは初体験の子も多く、不恰好なスイカにかぶりつきました。また、打ち上げ花火やナイアガラ、手持ちなどの花火大会も行いました。いずれもご寄付により実現したものです。ご支援頂いた皆様に心より感謝申し上げます。ほかにも寮ごとの宿泊旅行や、地域の黒目川の清掃ボランティア、子どものリクエストにより職員を独り占めにしての海水浴や魚釣りなど、様々な経験をしました。

二学期もひと月が過ぎ、生活の落ち着きを取り戻すとともに、気候もすっかり秋めいてきました。子どもたちは、運動会や合唱コンクールなどの学校行事に励んだり、受験勉強や就職活動に取り組んでいます。

学園での生活と体験を通じて、社会で生き生きと活躍できるよう、職員一丸となって子どもたちの生活を支援してまいります。地域の皆様、支援者の皆様にも引き続きのご理解とご支援を賜りたく、よろしく願いいたします。

江戸っ子杯ドッジボール

7月23日に江戸っ子杯争奪ドッジボール大会に参加しました。子ども達は短い練習期間でも一生懸命頑張っていました。大会当日は予選リーグで一勝一敗となり、得点差で惜しくも決勝トーナメントに進むことはできず悔しがる姿も見られましたが、その悔しさをバネにこれからも色々な事に挑戦していってくれたらと思います。みんな、本当にお疲れ様でした！



命頑張っていました。大会当日は予選リーグで一勝一敗となり、得点差で惜しくも決勝トーナメントに進むことはできず悔しがる姿も見られましたが、その悔しさをバネにこれからも色々な事に挑戦していってくれたらと思います。みんな、本当にお疲れ様でした！

みずき 担当職員

様々なチームが集まる中、緊張せずに活気あふれるプレイをした我が小山児童学園の子ども達。一回戦目は昨年敗れたチームであり、リベンジに挑むが惜しくも敗戦を喫してしまいました。

二回戦目開始前に職員と子ども達でミーティングを行い、その時彼らは「勝ちたい」と強い気持ちを伝えてくれました。思う存分楽しむようアドバイスをして、挑んだ二回戦目。ストレート勝ちの結果に子ども達も職員も大喜び。互いに信頼が深まった行事となりました。

桜寮 担当職員



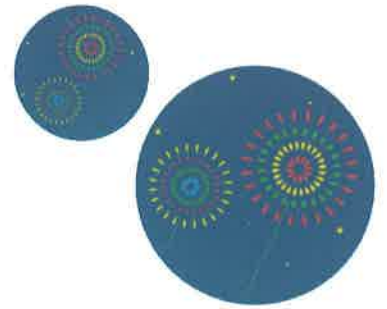
今年度は小さい子が多いことからチームワークを大切にすることを一番の目標に臨みましたが、いざ、練習が始まると上級生を中心に勝ちたい気持ちがどんどん高まっていくのがわかりました。下級生を上級生が囲んで守る作戦を立ててチーム一丸となって頑張りました。下級生にとっては自分達を守ってくれる上級生が頼もしく憧れの存在になったようでした。

本番で一勝することができたことは次年度に向けて大きな自信に繋がったと思います！

菊寮 担当職員



納涼祭



台風接近により中止になってしまった盆踊りが、有志を抱く職員の力によって納涼祭と姿を変え児童に笑顔をもたらすことができました！！

有志で集まった職員を中心に、天候不順で盆踊り大会が今年開催できなかったという思いから企画した納涼祭。パラシュートの打ち上げを合図に開始となりました。手作りの神輿を子どもたちと担ぎ、中央では察ごとにスイカ割りをして楽しみました。飲み物を飲み、かき氷を食べながら、輪投げや手持ち花火で何度も遊ぶ光景を見ることができました。打ち上げ花火では自然と子どもたちから歓声が上がり、納涼祭は幕を閉じました。



竹察 担当職員

「子ども達のために何か取り組もう！」との声掛けから始まった納涼祭は、直前に大雨となり中止も危ぶまれましたが、思いが通じ無事に開催することができました。準備に携わった職員
のバックアップもあり会場はいつもと一味違う子ども達の笑顔や熱気に包まれて、「この姿がきっと明日に繋がる！」そんな気がしたひと時でした。

桜察 担当職員



寮行事



竹寮は、7月に相模湖プレジャーフォレストへ行ってきました。

高所でスリル体験を行うマッスルモンスターでは、怖がりながらもアトラクションを楽しむ姿が見られました。

幼児から高校生まで楽しめるじゃぶじゃぶプールでは、スライダーが子どもたちにも人気でした。昼食はBBQの食べ放題をし、お腹いっぱい食べ大満足に終わることができた寮外出でした。

竹寮 担当職員



松寮では、夏休み最後の日東京ディズニーランドへ行きました。当日は近くのホテルに宿泊し、翌日は海に面している稲毛海浜公園プールに行きました。子ども達全員からアンケートをとり行き先が決定。

TDLではパレードに歓喜し、コーヒーカップやダンボ、絶叫マシンに乗り思いっきり楽しむことが出来ました。

翌日、稲毛海浜公園では波の出るプール、スライダー、流れる巨大プールで泳ぎ、隣接する海では貝殻を拾い楽しい思い出がまた一つ増えました。来年もいきたいね！とそんな声が聞かれました。

松寮 担当職員





菊寮は8月26日に園庭で流しそうめん・うどんをやりました。子どもたちは山に竹を取りに行き流し台を作るのを手伝ってくれたり、うどんの生地を一生懸命踏んでくれました。また、大量のから揚げを夏の暑さに負けることなく一緒に作ってくれました。普段とは違う子どもたちの姿がとても頼もしかったです。園庭で食べたみんなで作ったご飯はとってもおいしかったです。楽しい夏の思い出になりました。

菊寮 担当職員



桜寮の女子2名と職員1名で新宿にお出かけしました。まずは食べ放題のスイーツパラダイスでケーキやアイス、パスタなどおなかいっぱい食べてから、映画館バルト9へ。

3人で観たのは「銀魂2 掟は破るためにこそある」です。映画館のロビーには銀魂出演者が着ていた衣装も飾ってあって、ちょっと得した気分。映画はアクションあり笑いありで、たくさんの観客と一緒に笑ったりできて、映画館のひと時を味わいました。

桜寮 担当職員



グループホームみずきでは、夏休みに避難訓練を行いました。グループホームが火災になり本園へ避難、子ども達で炊飯し非常食を食べました。子ども達に炊飯を任せるのは少し心配でしたが高校生が小学生にも声をかけながらしっかり行動してくれ上手に炊飯できました。その後は、初めての試みとして立川防災館まで全員で行き、防災館の職員の方から災害時の注意事項等説明を受けながら、防災体験(煙体験、地震体験、防災ミニシアター)を受けました。地震体験では震度6を経験し小学生3年生の男の子は手が汗でびしょりになるほど緊張していました。全員で火災や地震の怖さを確認できて良い経験になりました。

みずき 担当職員



新任層の職員への研修 〈支援者支援について〉



1・2年目を対象に支援者支援というテーマの研修を受けました。

藤岡SVからのメンタルケアについてのお話だけではなく、新任職員ならではの悩みを聞くことができました。他職員の悩みを聞く中で、児童を支援する我々支援者の支援について・支援者支援とは一体何なのだろうと考える機会になりました。

職員が他職員を思いやることも支援者支援に繋がると思います。新任層だけでなく、それぞれの職員の層ごとにそのテーマに触れていくことはとても大切なことではないかと感じました。今後とも続けて欲しい研修内容だと思います。

菊寮 担当職員



子ども支援の研修は今までに数えきれないほど、受講してきましたが、今回その子どもを支える支援者支援について初めて学ぶことができました。研修内では、時間が限られているため、藤岡先生の研究報告資料の一部分しか聞くことができませんでしたが、後日ゆっくり読む時間を作りました。支援に悩んだときや困ったときに、また振り返りとして読みたいと思います。

竹寮 担当職員



編集後記

発行が遅くなってしまいましたが、無事に65号を発行することが出来ました。

夏休み中の子どもたちの生活の様子を感じることも出来たら幸いです。

楽しかった夏休みも終わり肌寒い季節が近づいてきました。体調等に気を配り寒さにも負けず、元気に楽しく過ごしていきたいです。

広報担当